

の回転原理である。しかし、実際には永久磁石を回してやって、これで回転子を回すのであってはモータにならないので、交流で回転する磁界を作ってやるわけである。つぎにこの回転磁界をつくる装置の製作に移ることにしよう。

### 3 回転磁界装置

#### (1) 完成見取図

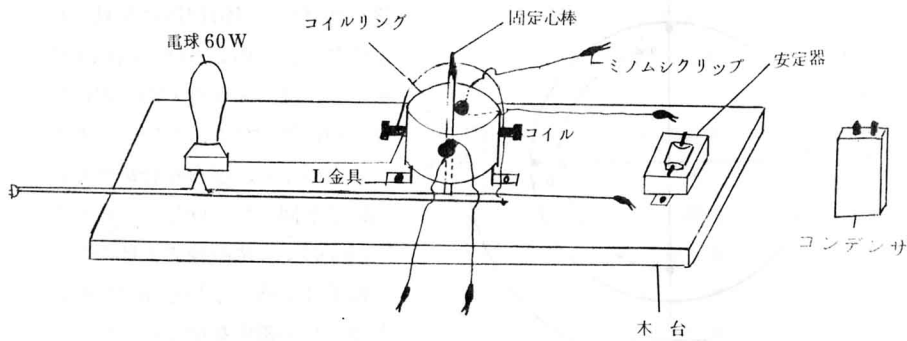


図-1

図-1は、蛍光灯20W用安定器およびコンデンサ（200 V以上 8～12 $\mu$ Fの容量）を交互に使用して、回転磁界をつくる装置の完成見取図であり、各部に名称（仮称）を付したものである。

#### (2) 製作図

##### ① 部分組立図

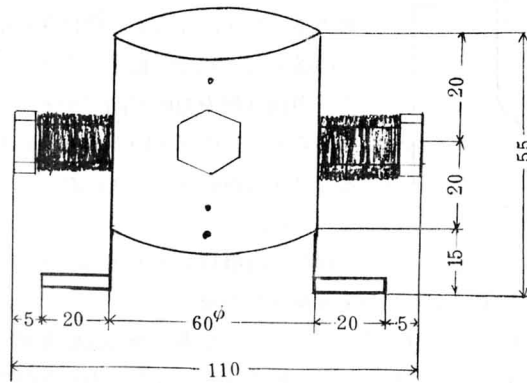


図-2

左図は、コイルリングにコイルを取りつけたものである。コイルリングは外径60 $\phi$ の塩ビパイプを使用した。コイルは、M8のボルトを鉄心にして、0.26～0.3 $\phi$ のフォルマル線を12 $m$ 巻きつけ、塩ビパイプを四等分し四か所にとりつける。さらに、コイルの端を出す穴を上部に一か所、下部に二か所あけ、上部は巻き始め、下部は巻き終りとする。